

世田谷区自立支援協議会

た

よ

い

4号

「世田谷区自立支援協議会」は、「障害があってもなくても誰もが自分らしく安心して暮らせる地域」の実現を目指すネットワークです。



■ 世田谷区自立支援協議会にぜひご参加ください

世田谷区自立支援協議会は障害者が地域の中で暮らしていけるように、各エリア協議会から現場の意見や課題を吸い上げ、みんなで『こういうことができる』『こういう風にしていこう!』という仕組みです。

世田谷エリア自立支援協議会
北沢エリア自立支援協議会
玉川エリア自立支援協議会
砧エリア自立支援協議会
烏山エリア自立支援協議会

地域移行部会

課題を抽出し、整理する

自立支援協議会
本会

各エリアの自立支援協議会や部会は地域での障害者の生活の支援に携わっている方々が、幅広く参加しています。参加ご希望の方は各事務局までご連絡ください。



会長就任のご挨拶

和泉短期大学児童福祉学科教授 鈴木 敏彦

この度、世田谷区自立支援協議会の会長職を拝命いたしました鈴木敏彦と申します。私は、和泉短期大学児童福祉学科にて社会福祉教育に携わるかたわら、横浜市内で主に障がい児・者支援を行う事業所を運営する社会福祉法人の経営に携わっております。また、障がい者の権利擁護を専門の研究分野とし、世田谷区障害者虐待防止連絡会委員や神奈川県障害者自立支援協議会権利擁護部会副会長等も務めさせて頂いております。

世田谷区自立支援協議会では、これまでの協議会の活動を継承しつつ、「協議から実践へ」つなげられる会の運営を心掛けたいと思います。「障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会」（障害者基本法第1条）が、世田谷の地で実現されるようさらなる取組みを図ってまいりたいと考えます。よろしくお願い申し上げます。

副会長就任のご挨拶

特定非営利活動法人自立の家 代表理事 小佐野 彰

今期から世田谷区自立支援協議会の副会長を務めさせていただきます小佐野 彰と申します。私が運営している特定非営利活動法人自立の家は、居宅介護事業所や指定特定相談支援事業所等の運営を通し、障害のある人の地域生活を応援している小さな法人です。日々重い障害のある人と向き合いながら悪戦苦闘をしています。

さて、今期の世田谷区自立支援協議会では、会長を始めとする運営委員の方々や事務局の皆様を支えていただきながら、身体や知的、精神等の障害特性を尊重しつつそのみに目を奪われることなく、障害のある人が共通に抱えている孤独感から来る様々な問題について寄り添える取組みを考えて行きたいと思います。また、新たな社会資源を生み出す実効性を持つ場にしていきたく思いますので、皆様どうかよろしくお願いいたします。

■ 平成 25 年度 第 1 回世田谷区自立支援協議会を開催しました！

平成 25 年 7 月 12 日(金)平成 25 年度第 1 回世田谷区自立支援協議会を開催しました。委員委嘱、会長選任、副会長指名、各エリア・部会からの活動報告を行い、委員の皆様と意見交換を行いました。



■ 委員の方からのご意見



相談支援の課題

- * 事業所の新規参入がなかなか進まない。
- * 報酬単価が大変低く、安定した事業の運営がむずかしい。
- * 障害についての相談先がはっきりしない。
- * 保護者に相談支援の事が浸透していない。

医療の課題

- * 調剤薬局に見える方より「ここだけにしてねっ！という話が結構ある。」お医者さんにどうやってフィードバックしていったらいいのか考えたい。

個人情報

- * 民生委員は高齢者の名簿を持っているが、障害者の方の名簿というのは持っていなくて、声を上げて下さる方だけの把握しか出来ていない状況。

虐待の課題

- * 現在虐待に合っている方に対する支援体制はスタートしてきたが、過去に虐待を受けた方への支援はまだない。

福祉サービスの課題

- * 障害を理解してヘルプして下さるヘルパーさんが少ない。
- * 休日に障害者が一人で過ごさざるをえない状況の際、支援がなかなか届いていないなあ実感する。
- * 重複する障害だとか、発達障害の問題だとか、複合的に絡んでいる障害の方が増え、支援が難しく、該当するサービスも少ない。
- * 法の谷間に落ちてしまう方が増えている。

障害理解の課題

- * 司法の部分での障害を持たれた方に対する理解がもう少し進むともうちょっと地域の目も暖かくなるように思う。

人材育成の課題

- * 相談支援事業を行う中で、支援者には相談支援の高いスキルを身につけていただきたいと願っている。

GH・CHの課題

- * 世田谷区の障害福祉計画の中でグループホーム・ケアホームを増やす見込み量をたてているが、いっこうに増えていくものが見えていない。これについて何が原因なんだろう、どこに手を打たなくてはいけないだろう、というような具体的なものを皆さんと一緒になって検討をしていけたらなあと思っている。

教育の課題

- * 特別支援学校の生徒数の増、また障害程度の多様化や重複障害も増。教職員の専門性の向上等必要。
- * 医療的ケアを必要とする児童への対応が課題。

所得補償の課題

- * 制度的な年金というものもあるが作業所の賃金も所得補償ということで見直しをするとだいぶ違っていきのかなどという風にも考えている。



1 つでも具体的な解決ができるように

この自立支援協議会を通しての実現を目指します

次回開催：第 2 回自立支援協議会

平成 26 年 2 月 14 日(金) 19 時~21 時 総合福祉センター 研修室

自立支援協議会のホームページ：<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/>

世田谷区ホームページ 福祉・健康 → 地域保健福祉 → 世田谷区自立支援協議会

編集・発行：世田谷区自立支援協議会事務局：基幹相談支援センター 平成 25 年 9 月

電話番号：03-5376-3414 / ファクシミリ番号：03-5376-3418